

## 主な歳出補正の予算額

※万円未満は切り捨て

事業名	事業概要	予算額
基金積立事業	土地開発基金、宅地開発等関連施設準備基金、地域福祉基金の廃止に伴い、取り崩し分を積み立て	3248万円
ふるさと応援寄附金納付促進事業	ふるさと応援寄附金の歳入見込み増に伴い、委託業者への手数料と委託料を増額	7593万円
拡大子ども医療費支給事業	令和6年10月からの小学生無償化による受診件数の増加、また、令和7年10月からの中学生無償化による受診件数の増加見込みに伴い、扶助費を増額	1991万円
保育所等ICT化推進等事業	私立保育所2カ所による、こども誰でも通園制度の実施にあたり、総合支援システムを利用するためのパソコン購入への補助を実施することに伴い、補助金を皆増	165万円
総合公園遊具等更新事業	筑紫野市総合公園の多目的駐車場を整備することに伴い、単独工事費を増額	1997万円
小学校屋内運動場空調設備整備事業(体育館)	市内小学校全11校の屋内運動場に空調設備を整備することに伴い、設計委託料を皆増	2186万円

### 概要

一般会計の予算に6億1670万4千円を増額し、総額を443億2615万6千円とするものです。

歳入の主な内容は、民生費県補助金140万円、ふるさと応援寄附金1億5737万5千円、基金繰入金1億

6110万4千円などです。歳出の主な内容は左表のとおりです。

### 議案

小学校体育館  
空調整備などに係る補正

可決

### 委員会での質疑

拡大子ども医療費支給事業

問 受診件数の増加に対し、モニタリング等を行わないのか。

答 モニタリング等が分析に止まることなく、今後の医療費削減につながるかなどを見極める必要があるため、慎重に検討していく。



総合公園遊具等更新事業

問 予算額約2千万円による施工の内容は。

答 整地、樹木の伐採、車止めの設置、路面表示、区画線工、園路の



空調設備 (イメージ)

答 設計業務は地方債としているが、本事業自体は、国の空調設備整備特例交付金の対象であり、次年度の事業実施に向け、補助金の申請を予定している。

問 設計業務委託料の財源は、地方債とのことだが、国県からの補助は受けられないのか。

小学校屋内運動場空調設備整備事業



安全対策、案内板の設置などを行う予定である。

## 本会議と委員会の会議録閲覧はこちらから

※12月定例会会議録は令和8年2月中旬以降に閲覧可能となります。



本会議会議録



委員会会議録

## 議案

### 住民票等手数料 コンビニ交付で減額

可決

#### 概要

証明書の窓口交付とコンビニ交付の金額に差をつけることで、コンビニ交付の促進による来庁者の減少、窓口混雑の緩和を図り、市民の利便性の向上に努めます。

住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税

証明書のコンビニ交付手数料を現行よりいずれも100円減額します。

近隣市は250円の設定が多く、コンビニ交付率は30%台です。本市は200円の設定とし50%を目標値とします。

改定時期は来年の繁忙期を迎える直前の令和8年2月とし、窓口の混雑緩和並びに市民の利便性の向上に努めます。



改定時期 令和8年2月1日 (1通あたり)

種 類	改定前	改定後	
		窓口	コンビニ
住民票の写し	300円	300円	200円 (▲100円)
印鑑登録証明書	300円	300円	200円 (▲100円)
所得課税証明書	300円	300円	200円 (▲100円)

#### 委員会での質疑

**問** メンテナンスなどでエラーが出て使えない時があるのではないかと。

**答** データの更新やメンテナンス等で月に1、2回程度は、停止することがある。

## 報告

### 二日市コミュニティ再編 天拝小学校区へ

#### 概要

二日市コミュニティの再編に伴い、天拝小学校区に設立されるコミュニティ運営協議会の活動拠点を、天拝小学校内に整備することで検討を進めていきます。コミュニティセンター単独での建設は行わず、小学校とコミュニティセンターの複合施設として、整備・運営していく方針です。なお、今後のスケジュールは、令和8年度末までに活動拠点の整備設計を実施し、令和9年度上半期までに活動拠点の整備工事を実施する予定としています。

#### 委員会での質疑

**問** 学校内に大人が入りやすくなることで、子どもたちに対する犯罪発生リスクを懸念する声があるが、どのような対策を考えているのか。

**答** 子どもたちとの接触を極力回避するために、子どもたちと協議会への来訪者との動線を明確に分けることとしたい。また、新たに防犯カメラを設置することも視野に入れ、子どもたちの安全確保について十分に検討していく。



筑紫野市立天拝小学校

## 調査

### 警固断層帯における 被害想定増

#### 概要

平成24年の調査後、約10年間の社会情勢の変化や地震に関する調査研究の蓄積などを踏まえ、福岡県が地震に関する最大の被害を想定した調査をし、10月末に説明会が実施されました。

#### 委員会での質疑

**問** 避難者が5,800人増で、今後の方針や対策に変更が必要では。

**答** 福岡県は、この結果を踏まえ各種計画等の改訂を進める予定であるため、内容を精査しながら順次改訂を行っていく。

**問** 市は簡易トイレを備蓄しているが、下水のインフラが寸断された場合等、対応の見解は。

**答** 簡易トイレは、内閣府が示す算出分より多い7,100回分は備蓄できている。

**問** 自宅トイレが使用できないケースに備え、新たに建設するコミュニティセンター等にマンホールトイレを設置できないか。

**答** 新たな建設などある場合、関係課に呼びかけを行っていきたい。

#### 福岡県地震に関するアセスメント調査報告に基づく被害想定

警固断層帯	最大震度	全壊全焼(棟)	半壊(棟)	死者数(人)	負傷者(人)	避難者(人)
今回調査(令和7年)	7	1,900	3,100	100	600	9,700
前回調査(平成24年)	6強	1,500	1,200	100	1,600	3,900
差分		400	1,900	0	-1,000	5,800

## 議案

### 小中学校体育施設 使用料有料化

否決

#### 概要

本市の学校体育施設使用料は有料又は無料であり、農トレ等は有料であることから利用する団体等の公平性が保たれていない状況や、受益者負担の観点から課題があります。それに加えて、近隣自治体の学校体育施設は有料であることや外部評価委員会からの提言を受け、小中学校の体育施設を有料化する条例案が提出されました。

い料金レベルに設定されていること、他の4市にはある市内団体や子ども向け等の割引が無いこと、小中学校体育館の料金水準を指定管理施設に合わせることで公平ではないとの反対討論があり、採決の結果、賛成者がおらず否決したものです。

#### 委員会での質疑

**問** 数年以内に全小中学校体育館へ冷暖房が完備されるとのことだが、その際は、冷暖房使用料を設定する予定なのか。

**答** 受益者負担の観点から完備されれば頂く方針である。

#### 討論・採決

今回、無料からいきなり筑紫地区で最も高

本市料金案及び筑紫地区5市比較

(1時間あたり、円)

施設	費目	筑紫野市(案)	春日市	大野城市	太宰府市	那珂川市
体育館	使用料	550	550	320	550	220
	照明料	220	110	200	220	340
	冷暖房使用料	-	-	1,270	-	-
グラウンド	使用料	550	550	320	550	220
	照明料	2,200	1,650	1,540	2,200	1,660
武道場	使用料	330	550	320	550	120
	照明料	110	110	200	-	170

## 議案

### 子ども誰でも 通園制度の開始

可決

#### 概要

全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な育成環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず、形で支援を強化するために創設され、令和8年4月から全国で始まります。本市でもこの制度を開始するにあたり、設備及び運営に関する最低基準を定めるため条例を制定するものです。

#### 対象児童

保育所、認定こども園、地域型保育事業所等に通っていない生後6ヶ月から2歳(3歳の誕生日の前々日)までの子ども  
○利用可能時間  
子ども1人につき月10時間まで  
○利用料  
1時間あたり300円程度



**答** 余裕活用型ではなく、新たに人数枠を設け保育士を雇用する一般的な型を予定しているため、負担が生じることはないと考えている。

**問** 保育士不足の中で、過重労働など、保育士への負担は大丈夫なのか。

#### 委員会での質疑

○利用手順  
住民票がある自治体への利用申請→利用予定施設での親子面談→利用予約→施設利用

## 報告

### 重層的支援体制整備事業

#### 概要

本事業は次の5つの事業を一体的に実施するものです。

①包括的相談支援事業  
相談者の属性、世代、相談内容に関わらず抱える課題の整理等。

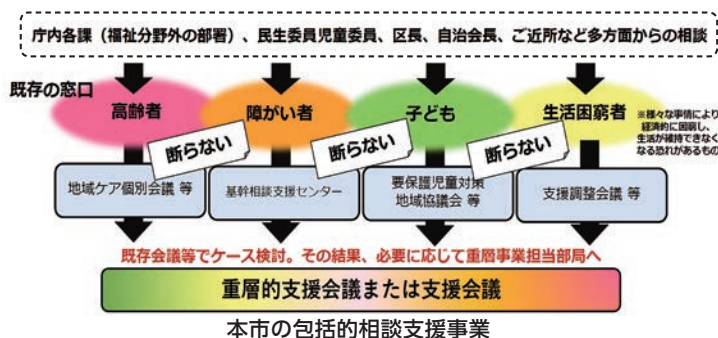
②参加支援事業  
本人やご家族が地域や社会との関わり方を選択し、自らの役割を見出すために多様な接点を確保することを目的とした支援。

③地域づくり事業  
世代や属性を超えて住民同士が交流できる多様な居場所や機会等を整備。

④アウトリーチ等を通じた継続的支援事業  
本人との信頼関係の構築や、支援関係機関とのネットワーク構築等。

⑤多機関協働事業  
支援関係機関の抱える課題の把握や役割分担、支援の方向性の整理や調整機能等。

事業開始は令和9年1月を予定しています。



**問** 事業を進めるにあたり、職員数や体制は十分に確保できているのか。

**答** 総合相談窓口を設けず、既存の体制を基本に関係課や関係機関が連携して対応する。運用しながら本市に合った体制を検証していく。

#### 委員会での質疑



## 議案

法定外道路の管理に  
関する条例の制定

修正  
可決

### 概要

道路法の適用を受けない市が所有する道の保全と、適正な利用を図るための条例を新しく作るものです。

市内の里道などの、占用許可や行為の禁止、占用料、原状回復、境界確定の協議、過料などの規定を道路法に準じて設けることにより、適切な管理を行うものです。

### 動議（部修正）

条例案では、里道の日常的な管理や清掃は、「地元行政区や自治会などが行うものとする。」とあるが、保全作業は昔から地元と市が連携して行われているもので明文化する必要はないという意見や、条文の内容を見直す必要があるのではないかとの意見があり、委員が委員会に動議を



里道の一例

提出し、この条文を削除しました。

### 委員会での質疑

問 条例が制定されることにより、どのように取扱が変わるのか。

答 許可を得ていない占用などに対し、はっきりした根拠で、分かりやすく指導することができると。

## 議案

粗大ごみ回収サービス  
オンライン申込が可能に

可決

### 概要

令和8年2月から粗大ごみ回収サービスの申込・決済をオンラインでも可能にするものです。

これにより、24時間いつでもオンライン申込が可能となり、粗大ごみシールの購入、電話申込が不要になります。

### 委員会での質疑

問 周知の方法をどのようにするのか。

答 市の広報紙やホームページ、SNSを活用し、令和8年度のごみ出しカレンダーにも掲載する予定である。

### オンライン申込【拡充】



### 【申し込みに必要な内容】

- 氏名
- 電話番号
- 住所
- 支払方法
- 排出する粗大ごみの内容
- 粗大ごみの写真
- 粗大ごみ搬出場所
- 収集予約日時

A4等の紙に受付番号、収集日、金額を記入し粗大ごみに貼付  
収集日時までに指定された場所へ搬出



粗大ごみ回収のオンライン申込イメージ

## 報告

JR二日市駅の待合室に  
待望のエアコン設置！

### 概要

観光客の利便増進による観光振興及び公共交通機関の利用促進を図るため、JR二日市駅構内の待合室に空調設備を設置しました。外気の侵入を防ぐエアカーテンも設置し、より快適な待合室となりました。工事金額は合計1264万5千円です。

### 委員会での質疑

問 ランニングコストはおおよそいくらか。

答 年間46万円の電気代やガス代がかかる見込みである。



設置したエアコン  
(4か所)

出入口付近に設置したエアカーテン  
(4か所)

## 報告

天拝山山頂の樹木剪定で  
景観が改善！魅力を最大限に！

### 概要

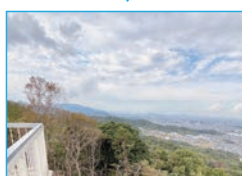
日々多くの登山客・観光客が利用している天拝山展望台は、樹木やツタが生い茂り眺望が損なわれているため、山頂周辺の樹木を剪定しました。視界が開け、西側の糸島市から北東側の阿志岐地区まで見渡すことができます。工事金額は合計444万円です。

北東側

西側



剪定前



剪定後

# 委員会視察レポート

## 総務市民常任委員会

### 防災への取組 (愛知県刈谷市)

想定避難者数を基礎とした備蓄量の設定や、拠点防災倉庫と物流訓練の一体的運用、小中学校体育館の空調・電源確保、災害時のトイレ確保といった「平時からの具体的な備え」に取り組んでいる。先進事例を参考に、これらの取組を積極的に推進していく。

### 住民主体のまちづくり (三重県名張市)

市民一人ひとりが地域で生きがいを持つて安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目指したコミュニティ政策を推進している。区長制度を廃止する際、旧市街地や山間部では反対の声が強く、困難を極めたとのこと。担い手不足や世代交代の対策として、「自分の住んでいる地域に親しみをもち、なにより地域の散策などによるマップ作

り等の取組を試みている。今後も視察等の機会を活用し、課題解決の取組を推進していく。



名張市での視察の様子

### シティプロモーションの取組 (大阪府箕面市)

シティプロモーションを大きくインナープロモーション（市内向け）とアウトプロモーション（市外向け）と分類し、役割と目的を明確にしている。既存の魅力を市内外の人々に再度認識してもらう取組や、そこに新たな付加価値を付ける取組など大変参考になった。本市も、歴史や自然など様々な魅力が眠っているのを、シティプロモーションに活かしていきたい。

## 文教福祉常任委員会

### 子育て支援と多世代間交流拠点

#### 東京都国立市 「矢川プラス」

コンセプトは「まちなかの大きな家と庭」多世代交流・子ども・学習支援・介護予防等を複合的に実現する施設。矢川駅近接の再開発により、耐震性を満たさない都営団地の建替と同時に地域課題へ対応する複合公共施設として整備。2階建ての中規模施設で、1階は多世代が交流でき、2階は子育て特化型エリア。環境づくりが子どもの行動を変え、という視点を重視する館長が運営する、木の温かみ溢れる施設だった。



矢川プラス

#### 栃木県真岡市 「monaca」

「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」をテーマに、子育て支援センター、図書館、地域交流センターが融合し連携して機能。3階建ての大規模施設で、極力間仕切りを無くすことで、全世代の人々がストレスなくつながり交流できている。例えば学生は、子どもと同じ空間にいることで自分が親になるイメージを持つことができ、大人が勉強する姿を見ることがで、大人になって勉強する生涯学習の視点を自然と身に付けられるというお話が印象に残った。



monaca

## 建設環境常任委員会

### 生ごみリサイクル (茨城県土浦市)

神立資源リサイクルセンターは、日本初の熱とバイオガスの相互利用を行う発電可能な施設である。バイオプラントは、食品廃棄物と土浦市の生ごみをメタン発酵させ、バイオガス（CO<sub>2</sub>削減、発電）と堆肥（農業利用・無償配布）を生産する。エコプラントは産業廃棄物を処理し、その余剰蒸気をバイオプラントの加温熱源として提供し、バイオプラントのバイオガスはエコプラントの補助燃料に使われ、相互に連携している。



神立資源リサイクルセンター

### 棚田オーナー制度 (茨城県茂木町)

平成11年から入郷地区の「石畑の棚田」が全国棚田百選に選ばれたことから棚田に関してブランド化が図られた。課題は高齢化に伴う作業労働者不足やオーナーが参加しない期間の日常管理、作業負担、長時間労働、天候不順や害虫、市場価格の変動による収穫や収益が見込めない、新たな参加者の減少、制度のマンネリ化、交流人口からの定住に繋がるまでのハードルの高さなどである。



入郷石畑の棚田